

## 1 令和3年度に実施した行政評価の結果について

## (1) 事務及び事業の評価の結果

令和2年度に実施した332の事務及び事業について、次年度の方向性を「拡大・重点化」、「改善」、「継続」、「縮小」、「統合」、「廃止」、「終了・完了」の7段階で評価した。

政策	拡大・重点化	改善	継続	縮小	統合	廃止	終了・完了	事務事業合計
政策1	0	4	8	0	0	0	0	12
政策2	3	2	100	3	1	0	0	109
政策3	0	1	9	0	0	0	0	10
政策4	1	0	5	0	0	0	0	6
政策5	4	4	77	1	0	0	1	87
政策6	1	1	12	0	0	0	0	14
政策7	0	2	41	0	0	0	1	44
政策8	0	2	18	0	0	0	0	20
該当政策なし	0	1	29	0	0	0	0	30
合計	9	17	299	4	1	0	2	332

## (2) 施策の評価の結果

野々市市第一次総合計画【中間見直し】に掲げる97の施策に設定している224の成果指標の達成状況について、「順調」、「おおむね順調」、「やや遅れている」、「遅れている」の4段階で評価した。

政策	順調	おおむね順調	やや遅れている	遅れている	評価対象外	成果指標数合計
政策1	11	10	6	1	2	30
政策2	18	10	2	1	2	33
政策3	13	7	2	0	0	22
政策4	4	5	2	0	3	14
政策5	5	14	5	4	9	37
政策6	11	9	3	4	3	30
政策7	12	9	3	0	0	24
政策8	17	11	3	2	1	34
合計	91	75	26	12	20	224

## 2 施策の評価の一部抜粋

施策を評価する際の成果指標について、それぞれ「順調に進んでいるもの」「遅れがみられるもの」の一部を示す。

(※)「基準値」は平成22年度の実績値（総合計画策定時の基準値）。平成28年度に中間見直しを行った際に設定した指標については、「-」としている。

政策		順調に進んでいるもの	遅れがみられるもの
【市民生活】	政策1 一人ひとりが担い手のまち	(No.5) 協働事業実施団体 【基準値】- 【目標値】30 【実績値】38 (No.9) 情報通信システムを活用した市民活動団体数 【基準値】1 【目標値】5 【実績値】58	(No.16) 市指定無形文化財の件数 【基準値】1 【目標値】4 【実績値】1 (No.24) 野々市会の会員数 【基準値】53 【目標値】100 【実績値】64
【福祉・保健・医療】	政策2 生涯健康 心のかよう福祉のまち	(No.39) 介護保険新規申請者の平均年齢 【基準値】81.3 【目標値】82以下 【実績値】80.3 (No.46) 地区包括支援センター相談件数 【基準値】232 【目標値】350 【実績値】1,039	(No.32) 地域支えあいマップ作成数 【基準値】2 【目標値】54 【実績値】20 (No.49) 地域サロンの数 【基準値】15 【目標値】30 【実績値】25
【安全安心】	政策3 安心とぬくもりを感じるまち	(No.65) 地域防災リーダー数 【基準値】20 【目標値】80 【実績値】212 (No.82) 防犯灯の設置数 【基準値】4,000 【目標値】4,800 【実績値】4,807	(No.68) 住宅の耐震化に対する助成 【基準値】- 【目標値】30 【実績値】13 (No.85) 消費生活相談会の開催数 【基準値】0 【目標値】20 【実績値】9
【環境】	政策4 環境について考える人が住むまち	(No.89) 環境ボランティアの人数 【基準値】0 【目標値】100 【実績値】97 (No.98) 事業系ごみの排出量 【基準値】7,083 【目標値】6,189 【実績値】6,733	(No.93) リサイクル率 【基準値】13 【目標値】15 【実績値】8
【生涯学習・教育】	政策5 みんながキャンパスライフを楽しむまち	(No.121) 新市立図書館貸出冊数 【基準値】- 【目標値】500,000 【実績値】530,759 (No.132) デジタル資料館へのアクセス数 【基準値】- 【目標値】5,000 【実績値】4,417	(No.123) ニュースポーツ大会参加人数 【基準値】107 【目標値】200 【実績値】55 (No.127) スポーツ少年団の団員数 【基準値】528 【目標値】800 【実績値】539
【産業振興】	政策6 野々市産の活気あふれるまち	(No.145) i-BIRD 入居企業のうち本市支援企業数 【基準値】- 【目標値】12 【実績値】17 (No.164) 観光物産協会主催事業数 【基準値】- 【目標値】10 【実績値】27	(No.138) 特産品数 【基準値】11 【目標値】20 【実績値】11 (No.143) 産学連携事業支援件数 【基準値】- 【目標値】3 【実績値】0
【都市基盤】	政策7 暮らし充実 快適がゆきとどくまち	(No.177) 狭あい道路の整備箇所数 【基準値】- 【目標値】50 【実績値】71 (No.180) アダプトプログラム締結団体数 【基準値】5 【目標値】15 【実績値】16	(No.171) 無電柱化地区数 【基準値】8 【目標値】10 【実績値】8
【行財政運営】	政策8 住み続けたい！をみんなの声でつくるまち	(No.197) 外国語ページへのアクセス数 【基準値】- 【目標値】600 【実績値】807 (No.214) ふるさと納税件数 【基準値】- 【目標値】20 【実績値】651	(No.213) ガバメントクラウドファンディング実施事業数 【基準値】- 【目標値】2 【実績値】0

施策の評価結果等一覧

政策1 一人ひとりが担い手のまち【市民生活】

No.	施策番号	成果指標を管理する所属	成果指標	重点プロジェクト	単位	指標の説明	平成22年度実績値(基準値)	令和3年度目標値	令和2年度実績値	目標値の達成状況	実施状況等	H28	H29	H30	R1	R2(再掲)
1	1-1-1	市民協働課	市民主体のまちづくりに関心のある市民の割合		%	市民主体のまちづくりに関心のある市民の割合(市民意識調査)	44.6	60	-	やや遅れている	令和2年度から市民活動センターにコーディネーターを配置して、活動の活性化、活動団体の広報に取り組んだ。	-	-	-	44.7	-
2	1-1-2	市民協働課	市民協働の市政運営の施策に対する市民満足度		%	市民協働の市政運営の施策に不満を持っていない市民の割合(市民意識調査)	-	60	-	やや遅れている	パブリックコメント意見数やふれあいミーティングの回数、各種委員会の公募委員が増加するよう、市政への市民参加を促す必要がある。	-	-	-	43.2	-
3	1-1-3	市民協働課	地域活動に参加している市民の割合	I	%	地域活動に参加している市民の割合(市民意識調査)	-	50.0%以上	-	順調	地域活動において重要な役割を担っている町内会と、引き続き連携・情報共有に努める。	-	-	-	52.6	-
4	1-1-3	市民協働課	市内のNPO法人組織数	I	団体	市内に拠点を置くNPO組織数の増加	4	10	12	順調	自発的に活動する市民が増加している。市民活動センターやシェアードオフィスを拠点に活動するNPO法人も増えてきている。	9	9	11	10	12
5	1-1-3	市民協働課	協働事業実施団体		団体	市民協働に取り組む団体の増加	-	30	38	順調	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止したため増減なし。		27	32	38	38
6	1-1-4	市民協働課	集会所を有している町内会数	I	町内会	集会所設置を支援し、町内会のコミュニティ活動を促進(町内会数54町内会)	34	42	41	順調	町内会活動のさらなる推進のため、建て替えを行う町内会(野代町内会)が見られた。	40	41	41	41	41
7	1-1-5	企画課	大学と行政の協力事業数		件/年	大学と行政が力を合わせて地域の発展のために行う事業数の増加	77	125以上	112	おおむね順調	新型コロナウイルス感染症の影響で複数の事業が中止となったが、中止を把握している事業数を含めても過年度を下回る実績となっている。感染症拡大下において事業を実施するための対策や工夫等について、今後検討していく必要がある。	124	146	138	143	112
8	1-1-5	企画課	各種統計データや行政情報の公表	I	回/年	統計データ活用の促進	0	1回以上	1	おおむね順調	市民が参加する第二次総合計画検討のための作業部会において、統計データも活用して検討に取り組んだ。今後も、統計データの活用・公表に取り組む。		0	1	0	1
9	1-1-6	企画課	情報通信システムを活用した市民活動団体数		団体	情報通信システムを活用した市民活動団体数を増加し、市民全体の情報活用能力を向上	1	5	58	順調	市や54町内会を支える会の取組により、全54町内が電子版の閲覧板等の機能を有するアプリ(結ネット)を導入したことにより、団体数が増えた。団体内訳:ハルの会、カフェあやめ、ののいちが.net、54町内会を支える会、全54町内会	4	4	13	27	58
10	1-1-7	生涯学習課	新市立図書館蔵書数	I	冊	地域の課題が解決できる資料の提供と蔵書の充実	-	200,000	208,085	順調	毎年16,000冊ずつ増やす当初の予定どおり、今後も図書館の調達を進めていく。		154,656	174,410	192,324	208,085
11	1-1-7	生涯学習課	新市立図書館貸出登録者数	I	人	潜在的な利用者の呼び起こし	-	15,000	13,225	順調	有効期限を超過した登録を抹消したため、目標値を一時的に下回ったが、多くの利用者が登録申込みを行った。		14,615	24,761	18,892	13,225
12	1-1-7	生涯学習課	新市立図書館等利用者数	I	人/年	ヒト・モノ・コトの交流の促進	-	300,000	248,873	おおむね順調	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、利用者が減少したが、対策を施し、可能な限り開館した。		219,350	502,450	468,474	248,873
13	1-1-7	生涯学習課	新中央公民館利用者数	I	人/年	ヒト・モノ・コトの交流の促進	-	55,000	34,647	おおむね順調	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、利用者が減少したが、対策を施し、可能な限り開館した。		-	5,000	57,486	34,647
14	1-1-7	企画課	地域中心交流拠点施設を活用した大学連携事業	I	件	地域中心交流拠点施設を活用した大学連携事業	-	3	-	遅れている	新型コロナウイルス感染症の影響による連携事業の中止に伴い、拠点施設の活用数も減少した。感染症拡大下において事業を実施するための対策や工夫等について、今後検討していく必要がある。		0	0	1	-
15	1-2-1	文化課	郷土芸能伝承団体への支援	I	団体	継続的に郷土芸能を伝承している団体数の増加	24	25	24	おおむね順調	郷土芸能伝承団体への支援を継続し、活動の継続維持に努める。	24	24	24	24	24
16	1-2-1	文化課	市指定無形文化財の件数	I	件	市内に伝わる特に重要な伝統行事の件数増加	1	4	1	やや遅れている	無形民俗文化財の調査を継続して行っている。	1	1	1	1	1
17	1-2-2	市民協働課	アダプトプログラム登録団体数	I	団体	アダプトプログラム登録団体数の延べ団体数	-	50	47	おおむね順調	登録団体の活動を支援する取り組みを充実させる必要がある。		43	43	44	47

No.	施策番号	成果指標を管理する所属	成果指標	重点プロジェクト	単位	指標の説明	平成22年度実績値(基準値)	令和3年度目標値	令和2年度実績値	目標値の達成状況	実施状況等	H28	H29	H30	R1	R2(再掲)
18	1-2-3	企画課	移住を促進する支援策を利用した移住者数	I	人	移住を促進する支援策を利用した移住者の5年間の延べ人数	-	50	147	順調	勤労者自己住宅資金利子補給制度により、新築物件の購入や建設を促した。また、移住検討者を対象としたオンライン相談会に石川中央都市圏全体で出席した。今後も効果的な移住促進施策を展開する必要がある。		28	61	112	147
19	1-3-1	市民協働課	多文化共生事業の実施回数		回/年	多文化共生の地域づくりを進めるための取り組み回数の増加	0	5	5	順調	令和2年度12月より国際交流カフェを月1回程度開催しており、事業回数の増加につながった。	3	6	7	4	5
20	1-3-1	市民協働課	多文化共生事業への参加者数		人	多文化共生の地域づくりに関心を持つ市民の増加	0	1,000	554	おおむね順調	令和2年度はコロナ禍により事業を十分に行うことができなかったため、参加者数は減少したが、ウェブ上に多文化共生に関する動画を投稿するなど、新たな試みも行った。	197	778	1869	2827	554
21	1-3-2	学校教育課	学生訪問団の相互訪問の継続		回	児童生徒の異文化体験機会の継続	2	2	1	おおむね順調	感染症の影響により、訪問団の派遣はなかったものの、作品交換という形で交流を行った。	2	1	1	1	1
22	1-3-2	市民協働課	市内のホストファミリー経験世帯数(累計)		件	異文化体験への関心の増加	181	250	-	-	令和2年度はコロナ禍によりホストファミリー事業が行われなかった。	224	239	244	253	-
23	1-3-3	市民協働課	野々市市国際友好親善協会の会員数	I	人	国際交流に関心を持つ市民の増加	58	100	71	やや遅れている	令和2年度はコロナ禍により事業を十分に行うことができなかったこともあり、会員数は微増にとどまった。	48	50	56	69	71
24	1-3-3	市民協働課	野々市会の会員数	I	人	本市の魅力向上と本市にふるさと意識を持つ方々の増加	53	100	64	やや遅れている	コロナ禍でふるさと交流会等が中止となったため、PR機会が少なかった。今後、会員のネットワークを通じたPRについて支援していく。	76	72	71	67	64
25	1-4-1	市民協働課	審議会などへの女性の登用状況		%	政策方針決定過程への女性の参画拡大	31.1	50.0	33.3	やや遅れている	年々微増傾向にある。新プラン策定作業を通じて、引き続き、各課に女性委員の登用を進めるよう促していく。	29.6	29.6	29.8	30.7	33.3
26	1-4-1	秘書室	本市の課長相当職以上の女性登用状況		%	役職比率についての男女差の是正	26.1	34.0	24.4	おおむね順調	女性職員の年齢構成により登用率も変動する可能性が高い。現状として課長相当職以上に登用される年齢層の女性職員が少ないが、女性の登用について検討し、役職比率についての男女差の是正に努めている。	20	26.1	26.7	27.7	24.4
27	1-4-2	市民協働課	無料法律相談、市民なんでも相談の実施回数		回/年	人権課題などに不安を持つ市民に対する支援回数の増加	19	27	26	おおむね順調	相談件数の多寡に関わらず、受け入れ体制を整えておくことが重要、定例市民なんでも相談は定期的実施。また専門家への相談ニーズが高まってきていることから、無料法律相談は継続して実施する。	26	26	26	26	26
28	1-4-2	市民協働課	人権の花運動		回/年	思いやりの心を育む機会の提供	-	1	3	順調	人権擁護委員から「人権の花」を例年小学校に贈呈しているが、令和2年度はコロナ禍により放課後児童クラブ3クラブに贈呈。児童が協力、感謝することの大切さを学ぶとともに自分や友達などの身近な人たちに対する優しい思いやりの心を体得させ、人権思想を育むことを目的とする。		1	1	1	3
29	1-4-3	総務課	平和の旅の実施回数		回	生徒が平和を守ることの大切さを学ぶ機会の維持	1	1	0	-	新型コロナウイルス感染症の流行拡大のため、令和2年度は事業の実施を見送った。	1	1	1	1	0
30	1-4-3	総務課	原爆パネル展の会場数		箇所	市民の平和意識向上のための機会の増加	1	7	7	順調	郵便局との包括連携協定を踏まえ、野々市郵便局を新たな会場として追加し、より多くの市民の目に触れる機会を提供することができた。	5	4	5	5	7

政策2 生涯健康 心のかよう福祉のまち【福祉・保健・医療】

No.	施策番号	成果指標を管理する所属	成果指標	重点プロジェクト	単位	指標の説明	平成22年度実績値(基準値)	令和3年度目標値	令和2年度実績値	目標値の達成状況	実施状況等	H28	H29	H30	R1	R2(再掲)
31	2-1-1	福祉総務課	地域ボランティアの人数	I	人	社会福祉協議会へのボランティア登録者数の増加	1,400	2,000	1,434	おおむね順調	新型コロナウイルス感染症の影響により、ボランティアの活動自体が減少したため、登録者数も減少した。感染状況を見ながら活動が再開されるよう促していく。	2,311	2,051	2,064	2,073	1,434
32	2-1-1	介護長寿課	地域支えあいマップ作成数	I	町内会	全町内会でのマップ作成	2	54	20	やや遅れている	新型コロナウイルス感染症拡大により、住民が集まってマップを作成する場を開催するのが難しい状況であった。感染拡大の状況に応じて、作成していない町内会へ引き続き周知を行っていく。	18	18	19	20	20
33	2-1-1	福祉総務課	生活困窮自立支援事業相談の充実	I	件	生活困窮者自立支援事業相談数	-	120	347	順調	新型コロナウイルス感染症の影響により、困窮者のための相談窓口の周知が図られ、相談件数が増加した。今後もこのような事態に対応出来る体制が必要である。		72	96	117	347
34	2-1-2	保険年金課	一人当たり国民健康保険医療費		千円/年	医療費の適正化を維持	339	394	380	順調	成果指標は最終目的の想定内におさまり、また令和2年度の市の国保医療費総額は前年比2.1%減となった。	375	390	373	385	380
35	2-1-2	介護長寿課	65歳以上の介護保険認定率		%/年	介護予防を実施することで、推計値18.5%を下回る	15	18	14.9	順調	新型コロナウイルス感染症予防により、外出を控えている高齢者が増加傾向であるが、介護予防の推進により、要介護認定者数の増加を抑制できている。	13.9	13.8	14.1	14.4	14.9
36	2-1-2	介護長寿課	介護保険一人当たり給付費		千円/年	介護予防を実施することで、推計値300千円を下回る	250	300以下	238	順調	新型コロナウイルス感染症予防のため、サービス利用の変化及び第1号被保険者数の増加に加え、介護予防事業等の効果により、給付費の増加が抑制されている。	241	234	230	236	238
37	2-2-1	健康推進課	特定健康診査の受診率		%	健康に関心を持ち、健康診査を受ける人の割合の増加	44	65	45.5	やや遅れている	令和2年度の受診率は下がったが、新型コロナウイルスの影響で受診控えが見られたと考えられる。	54.4	51.4	54.0	54.5	45.5
38	2-2-1	健康推進課	特定保健指導の実施率		%	生活習慣病改善の必要な方への支援の増加(国の目標値を本計画の目標値として設定)	38	45	52.7	やや遅れている	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため訪問を中止したこともあり、保健指導率は低下している。	68	69	68.8	68.6	52.7
39	2-2-1	介護長寿課	介護保険新規申請者の平均年齢		歳	健康づくりの推進により、介護保険適用の年齢上昇	81.3	82.0以上	80.3	順調	新規に要介護認定申請をするに至った原因疾患に多く見られる脳血管疾患、認知症の発症の予防のための生活習慣病対策や、関節疾患の予防のための対策、及び保険事業と介護予防の一体的な取り組み事業の実施により更なる推進を図る。	80.7	80.5	80.9	81.8	80.3
40	2-2-2	健康推進課	人口10万対診療施設数		施設	初期医療機関(歯科診療所含む)の施設数の維持	153	153	155	順調	令和2年度診療施設数は83件であり、令和元年度より3件増加している。(新規診療施設数:4件、廃業診療施設数:1件)	155	150	147	151	155
41	2-2-2	健康推進課	公立松任石川中央病院への紹介患者市民数		人/年	初期医療機関等から紹介された年間患者数の増加	1,590	2,000	2,036	順調	令和元年度は新型コロナウイルス感染症の影響で紹介患者数は減少したが、令和2年度は医療機関を受診する人が徐々に増え、例年通りの件数まで回復している。	2,050	2,010	1,812	1,761	2,036
42	2-2-2	健康推進課	公立松任石川中央病院からの逆紹介患者市民数		人/年	初期医療機関等へ紹介した年間患者数の増加	1,452	2,000	1,765	おおむね順調	令和元年度は新型コロナウイルス感染症の影響で逆紹介患者数は減少したが、令和2年度は例年通りの件数まで回復している。	1,852	1,996	1,949	1,853	1,765
43	2-3-1	介護長寿課	在宅福祉サービス利用率(紙おむつ)		%	サービス利用率の増加	-	50	58.3	順調	対象者を支援するケアマネジャーにサービスの周知がされており、サービスを必要とする高齢者に申請の推奨や手続きの支援が行われている。		49.8	59.1	53.6	58.3
44	2-3-1	介護長寿課	介護認定者の在宅率		%	安心して高齢期の生活ができる市民の増加	77.5	90	87.4	順調	在宅福祉サービスの充実及び利用の推進を図るとともに、地域包括支援センター及びケアマネジャーと連携し、在宅生活の継続及び要介護状態の重度化予防を図る。	86	86	85.2	86.7	87.4
45	2-3-2	介護長寿課	認知症サポーター数	I	人	サポーター数の増加(人口比10%)	1,600	5,000	4,856	おおむね順調	新型コロナウイルス感染症拡大により、学校、企業、住民団体を対象としている講座の開催は難しい状況であった。感染拡大の状況に応じて、引き続き働きかけていく。	3,684	3,985	4,541	4,670	4,856
46	2-3-2	介護長寿課	地区包括支援センター相談件数	I	件	安心して在宅で生活できる高齢者の増加	232	350	1,039	順調	地域住民や関係機関への周知活動等により地域包括支援センターを知ってもらう機会が増え、相談件数が年々増加していると思われる。しかし、市民から相談先についての問い合わせがまだあるため引き続き周知していく。	43	516	601	867	1,039

No.	施策番号	成果指標を管理する所属	成果指標	重点プロジェクト	単位	指標の説明	平成22年度実績値(基準値)	令和3年度目標値	令和2年度実績値	目標値の達成状況	実施状況等	H28	H29	H30	R1	R2(再掲)
47	2-3-3	介護長寿課	65歳以上のスポーツクラブ会員数	Ⅲ	人/年	スポーツクラブを通じた健康づくり、仲間づくりの推進(※目標値は、当初設定した目標値に市外の会員数が含まれていたため、適切な数値に再設定している)	750	600	543	おおむね順調	高齢者においても趣味活動が多様化している中、健康づくり、仲間づくりの手段の一つとしてスポーツクラブも活用できるよう、市フィットネス協議会と連携を図る。	529	595	513	630	543
48	2-3-3	介護長寿課	老人会会員数	Ⅲ	人/年	活動的な高齢者数の増加	1,250	1,350	902	遅れている	老人クラブの加入者の減少は、定年延長や趣味活動の多種多様化等が一因と思われる。老人クラブの活動が健康増進や生きがいづくりにつながるといふ魅力はPRし、会員数の減少に歯止めがかかるよう支援する。	1,058	1,000	955	948	902
49	2-3-3	介護長寿課	地域サロンの数	Ⅲ	箇所	地域でのつながり、閉じこもりや体力低下を防止	15	30	25	やや遅れている	地域サロンの立ち上げを希望する町内会等への支援や既存の地域サロンへの継続支援を引き続き行っていく。	21	22	24	24	25
50	2-3-4	福祉総務課	相談支援などの利用者数		人/年	相談などによる支援を増加し、安心して生活できる環境を整備	845	2,000	1,419	順調	計画相談が充実してきたこともあり、実績は減少もしくは横ばい傾向にある。しかし、障害のある方が生活していく上で、福祉サービスに関することのみではないため、支援が受けられる体制は必要である。相談支援事業所の役割は重要であり、今後も事業の継続は必要と考える。	1,112	1,330	1,283	1,331	1,419
51	2-3-4	福祉総務課	サービス利用計画の作成数		人/年	適切な福祉サービスを受け、安心して暮らす市民数の増加	-	400	474	順調	サービス利用計画の作成数は微増、もしくは横ばい傾向となっている。相談支援等で障害福祉サービスが必要な方であった場合には、適切に相談支援事業所等へつなぐことができていく。	399	420	448	475	474
52	2-4-1	健康推進課	出生数		人/年	子どもを育てやすいまちとすることで、出生数を増加	602	680	589	おおむね順調	コロナ禍の中、昨年度より出生数は減少したが、H22年度策定時に近い水準は維持できていたため、おおむね順調とした。	648	676	554	618	589
53	2-4-1	健康推進課	合計特殊出生率		人	子どもを育てやすいまちとすることで、合計特殊出生率を増加	1.65	2	1.81	おおむね順調	R3年度目標値には達していないものの、順調に増加しているため概ね順調とした。	1.69	1.69	1.69	1.81	1.81
54	2-4-1	健康推進課	妊産婦、乳幼児健康診査の受診率		%	妊産婦、乳幼児健康診査の受診率増加	81	95	83.1	おおむね順調	妊産婦健診の里帰り健診助成実施、乳幼児健診は母子保健推進員による未受診者への訪問で受診率向上に努めている。	83	79	83	86	83.1
55	2-4-2	子育て支援課	子育て支援センター施設数		箇所	子育てに関する情報の提供と保護者の交流の場を増加	7	8	7	順調	コンパクトな市域に多くの子育て支援センターがあり、利便性が高い。	7	7	7	7	7
56	2-4-2	子育て支援課	子育て支援センター利用者数		人/年	子育てに関する情報の提供と保護者の交流の場の利用者を増加	32,458	40,000	9,976	おおむね順調	新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、臨時休所や利用制限を実施したことから利用者数は大幅に減少したが、対策を講じながら親子の居場所を確保した。	31,441	29,992	29,891	29,832	9,976
57	2-4-2	子育て支援課	ファミリーサポート登録者数		人	子育ての援助を行う市民の登録者数を増加	163	200	166	順調	会員数は減少傾向にあるが、活動件数は増加傾向にある。今後も、広報などで制度の周知や会員の募集を継続していく。	188	202	184	177	166
58	2-4-3	子育て支援課	児童相談窓口の設置数		箇所	子育て支援センター窓口で相談を実施し、相談体制を充実	2	9	8	順調	令和3年3月から子育て支援センター菅原内で利用者支援事業(基本型)を開始し相談機能の強化を図った。	7	7	7	7	8
59	2-4-4	子育て支援課	保育児童数		人	保育サービス充実による児童数の増加	1,690	2,100	2,250	順調	待機児童を発生させないよう、保育ニーズに応じて市立保育園の受け入れ人数を調整するなどの対策を講じた。また、今後の保育ニーズの増加に対応するために、民間の認定こども園を誘致した。	2,090	2,117	2,100	2,225	2,250
60	2-4-4	子育て支援課	児童館利用者数		人	児童の健全な遊びと健康増進施設の利用者増加	-	105,000	50,371	順調	コロナ禍で外出機会が減少している中、感染対策が講じられている施設で子どもを遊ばせることができる場を求めて多くの未就園児が利用した。		89,492	78,471	81,264	50,371
61	2-4-5	子育て支援課	子育て支援センター(子育て世代包括支援センター)利用者数	Ⅲ	人/年	包括的な子育てサービス提供の推進	-	14,000	2,907	順調	新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、臨時休所や利用制限を実施したことから利用者数は大幅に減少したが、対策を講じながら相談の機会を確保した。		11,988	13,651	13,596	2,907
62	2-4-5	生涯学習課	放課後子ども教室参加人数	Ⅲ	人/年	放課後の子どもたちの居場所づくりの推進	-	160	30	おおむね順調	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、参加人数を減らし、広めの会場で、内容を工夫して行った。		143	139	139	30
63	2-4-5	福祉総務課	子どもの学習教室の利用人数(延べ人数)	Ⅲ	人/年	生活保護世帯の子どもへの学習支援	-	60	12	おおむね順調	対象者が少ないため、参加者も少ない状況である。その年の対象者に合わせて柔軟に実施していく。		49	45	27	12

政策3 安心とぬくもりを感じるまち【安全安心】

No.	施策番号	成果指標を管理する所属	成果指標	重点プロジェクト	単位	指標の説明	平成22年度実績値(基準値)	令和3年度目標値	令和2年度実績値	目標値の達成状況	実施状況等	H28	H29	H30	R1	R2(再掲)
64	3-1-1	環境安全課	自主防災組織の数	I	団体	全町内会で結成し、地域防災力を向上	26	54	53	順調	54町内会のうち53町内会で自主防災組織が結成されており、自助及び共助の取り組みが市民に浸透してきている。	49	51	53	53	53
65	3-1-1	環境安全課	地域防災リーダー数	I	人	自主防災組織における防災士数を増加	20	80	212	順調	防災士の資格を取得し、地域の防災リーダーとなって活動することにより、地域防災力の向上が図られている。	81	105	139	177	212
66	3-1-1	環境安全課	災害時応援協定の締結数	I	団体	行政による防災力を強化	19	40	55	順調	災害時の迅速な応急復旧、円滑な避難所運営等を図るため、事業所等と連携協力に関する意見交換を行い、災害協定の締結に努めている。	42	47	50	50	55
67	3-1-1	環境安全課	地域の安全向上事業の個別事業の取り組み	I	件	さまざまな分野での地域防災力の向上	0	6	7	順調	地域防災力の向上を図るため、消防団の活動紹介や各種団体への防災研修、市民が主体となる防災訓練の打合せなど、市民自らが防災対策を実践できるよう環境づくりを行った。なお、新型コロナウイルスの影響により、研修会等の開催を控えた。		3	11	12	7
68	3-1-2	建築住宅課	住宅の耐震化に対する助成		件数	耐震改修等への助成による耐震化率の向上	-	30	13	やや遅れている	「住宅耐震化緊急促進アクションプログラム」に基づく取り組みにより、耐震化の重要性や補助制度を積極的にPRし、市内における住宅の耐震化の促進を図る。		5	8	10	13
69	3-1-2	建築住宅課	避難所となる公共施設の耐震化率		%	耐震改修促進計画に基づく公共施設の耐震化率増加	90	100	97	おおむね順調	避難所となる公共施設について、建替えや避難所の見直し等により耐震化率の向上を図っている。	94	97	97	97	97
70	3-1-3	上下水道課	下水道幹線管路の耐震化率	Ⅲ	km	下水道幹線管路の耐震化延長	-	8.6	8.6	順調	H31に下水道幹線管路の耐震化完了。		6.2	8.1	8.6	8.6
71	3-1-3	上下水道課	配水本管の耐震化	Ⅲ	km	200ミリ以上の配水本管の耐震化延長	-	26	10.4	おおむね順調	今年度は、コロナ対策等による金額調整により施工延長がやや少なかったが、重要給水施設への配水管更新(耐震化)工事ができており、おおむね順調に実施できている。		7.6	9.4	10.1	10.4
72	3-1-3	建設課	災害時多目的広場数	Ⅲ	箇所	災害時多目的広場として単独利用可能な場所の確保	-	1	0	順調	30豪雪及び令和3年1月の大雪による雪害時においても、現状で対応が可能であったため。		0	0	0	0
73	3-2-1	建設課	警戒水位設定のための水位計の設置箇所		箇所	水害による被害軽減策の強化	0	6	2	おおむね順調	市の水防体制で活用している二級河川の水位計情報に加えて、更に各地区の詳細な情報を把握するため、引き続き、準用河川等における水位計の設置を検討していく。		0	0	2	2
74	3-2-1	環境安全課	消防団員の数		人	地域防災力の強化	105	130	114	おおむね順調	消防団員を確保するため、研修会を通じて、自警団に対し、消防団への協力について依頼した。	110	118	119	118	114
75	3-2-1	環境安全課	救急救命講習会の開催回数		回/年	地域防災力強化のため町内会、事業所、学校での講習回数増加	80	100	20	おおむね順調	年間を通して定期的に講習会を実施しているが、新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、講習会の開催を控えた。引き続き各種団体に対して、受講及び再講習の実施について働きかけを行う。	58	60	67	73	20
76	3-2-1	建設課	監視箇所数		箇所	道路監視カメラ設置による早期の災害対応	-	8	5	順調	今後、土地区画整理事業や街路事業の施行に併せて、道路監視カメラの増設検討を行う。		5	5	5	5
77	3-2-1	建設課	安全施設設置箇所		箇所	横断地下道出入口にバリアードや情報板の設置箇所増加	-	3	3	順調	現状は、電光掲示板及び警戒標識の設置が完了している。今後、車両通行止め用バリアードの設置について、交付金の活用を検討していく。		0	0	2	3
78	3-2-2	介護長寿課	福祉避難所数		箇所	避難行動要支援者を収容する避難所の増加	4	6	6	順調	福祉避難所として活用できる事業所に対しては、今後も引き続き協定締結への働きかけを行う。	6	6	6	6	6
79	3-2-2	環境安全課	災害備蓄食料等の備蓄率		%	地域防災計画に定める備蓄量に対する備蓄率の増加	85	100	100	順調	避難所における新型コロナウイルス等の感染症を予防するための物品を新たに購入するなど、計画的な備蓄に努めている。	100	100	100	100	100

No.	施策番号	成果指標を管理する所属	成果指標	重点プロジェクト	単位	指標の説明	平成22年度実績値(基準値)	令和3年度目標値	令和2年度実績値	目標値の達成状況	実施状況等					
												H28	H29	H30	R1	R2(再掲)
80	3-3-1	建設課	標識・照明の設置率		%	交通安全のための標識等の設置率増加(新市街地分)	100	110	107	順調	土地区画整理事業や街路事業の施行に併せて、道路照明灯や案内標識の設置を検討して行く。	100	100	102	105	107
81	3-3-1	建設課	歩道改良の延長		km	歩道有効幅員拡幅の整備路線延長による安全性の確保	-	3.6	2.4	順調	令和2年度の実施設計をもとに、引き続き、歩道有効幅員拡幅の整備を行う。		1.86	2.2	2.4	2.4
82	3-4-1	市民協働課	防犯灯の設置数		灯	町内会が管理する防犯灯数の増加による犯罪抑止	4,000	4,800	4,807	順調	LED灯の新設に加えて、蛍光灯や水銀灯から費用対効果の優れたLED灯への交換が進んでいる。	4,502	4,565	4,615	4,712	4,807
83	3-4-1	環境安全課	地域ボランティア活動の実施数		回	市民の防犯意識向上	33	75	42	おおむね順調	防犯協会が青色回転等を使用した防犯パトロールを実施したが、新型コロナウイルスの影響により、金沢工業大学イーグル隊との合同パトロールは中止とした。	66	73	71	80	42
84	3-5-1	市民協働課	消費生活相談会の開催数		回/年	移動相談室の開催による消費者の安全確保	0	20	9	やや遅れている	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、4~6月について開催を中止したことにより開催数は減少したが、市消費生活センターの周知に努めている。また、民生委員児童委員と連携を図り、消費者トラブルの注意喚起に努めている。	16	15	15	14	9
85	3-5-2	市民協働課	消費生活研修会の開催回数		回/年	地区老人会、町内会など各種団体での研修会を通じた消費者の意識向上	10	30	28	おおむね順調	小中学校への消費者教育を開催したほか、各団体に向けての研修にも努めた。	21	23	32	19	28

政策4 環境について考える人が住むまち【環境】

No.	施策番号	成果指標を管理する所属	成果指標	重点プロジェクト	単位	指標の説明	平成22年度実績値(基準値)	令和3年度目標値	令和2年度実績値	目標値の達成状況	実施状況等					
												H28	H29	H30	R1	R2(再掲)
86	4-1-1	環境安全課	環境基本条例制定の達成度		%	条例制定の達成割合	0	100	100	順調	平成31年3月に条例を制定した。	0	0	100	100	100
87	4-1-1	環境安全課	環境基本計画制定の達成度		%	計画策定の達成割合	0	100	0	順調	環境基本条例を制定し、計画策定に向けた調査、検討を実施している。		0	0	0	0
88	4-1-2	環境安全課	地球温暖化対策実行計画の達成度		-	市の事務・事業により排出される温室効果ガス量の削減(対平成20年度)	100	90	106	やや遅れている	関係課と連携し、温室効果の削減を図った。今後についても、温室効果ガス削減について効果的な取り組みを検討する。	99	101	102	106	106
89	4-1-3	環境安全課	環境ボランティアの人数		人	自然環境保全に関心のある市民の増加	0	100	97	おおむね順調	環境保全団体に対し、清掃・除草等に係る支援を行い、ボランティア人数の確保に努めた。	62	118	106	101	97
90	4-1-3	環境安全課	環境ボランティアによる活動回数		回/年	自然環境保全の啓発などを行う催し物等の増加	0	12	4	-	新型コロナウイルス感染拡大防止により一部事業を縮小した。	12	2	17	12	4
91	4-1-4	環境安全課	家庭系ごみの排出量		g	市民1人1日あたりのごみ排出量低減	592	517	533	おおむね順調	新型コロナウイルスの影響により、テレワークや巣ごもり需要により家庭ごみの排出量が増加した。	536	529	523	526	533
92	4-1-4	環境安全課	事業系ごみの排出量		g	1事業所1日あたりのごみ排出量低減	7,083	6,189	6,733	おおむね順調	新型コロナウイルスにより事業所から排出されるごみの量が減少した。	8,484	8,686	8,476	8,464	6,733
93	4-1-4	環境安全課	リサイクル率		%	空き缶、空き瓶等のリサイクル率向上による環境負荷の低減	13	15	8	やや遅れている	事業者による自主回収やペーパーレス化により減少傾向にある。分別方法を周知するなどリサイクル意識の高揚を図る。	10	11	9	8	8
94	4-1-5	環境安全課	家庭ごみ集積場数		箇所	家庭ごみを出しやすい環境を整備し、不法投棄を抑制	1,600	2,000	1,670	おおむね順調	8世帯以上の共同住宅の増加に伴い集積場数は増加傾向にあり、家庭ごみを出しやすい環境が整っている。	1,650	1,670	1,694	1,678	1,670
95	4-2-1	環境安全課	空き地の除草受託面積		m2	市民の自主的な解決により受託面積の減少	12,000	5,000	5,739	おおむね順調	自己処理の周知をさらに徹底する。	5,258	4,504	5,295	6,506	5,739
96	4-2-2	環境安全課	計画に基づく環境分析調査		回/年	地下水保全のための取り組み	-	1	1	順調	地下水保全計画に基づき、地下水に係る調査を行った。		1	1	1	1
97	4-2-3	環境安全課	墓地区画数(概数)	Ⅲ	区画	定住化志向の向上(宗教法人が設置する墓地を除く)	2,000	3,000	2,000	順調	墓地整備に向け、実施計画を策定した。	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
98	4-3-1	環境安全課	環境教育への参加		人	町内会が実施するごみ減量等の研修会などによる環境保全意識の高揚	100	600	54	-	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業を大幅縮小した。	250	751	1036	775	54
99	4-3-1	環境安全課	環境保全体験事業への参加		人	自然の生き物調査や水、森などの大切さを学ぶことによる環境保全意識の高揚	-	100	-	-	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業を中止した。	50	124	71	152	-

政策5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】

No.	施策番号	成果指標を管理する所属	成果指標	重点プロジェクト	単位	指標の説明	平成22年度実績値(基準値)	令和3年度目標値	令和2年度実績値	目標値の達成状況	実施状況等					
												H28	H29	H30	R1	R2(再掲)
100	5-1-1	学校教育課	「授業が分かりやすい」と答える児童(小6)の割合		%	授業の質の向上	81.2	85	—	—	昨年度実施していないため、実績値なし	78	87.8	86.2	87.0	—
101	5-1-1	学校教育課	「授業が分かりやすい」と答える生徒(中3)の割合		%	授業の質の向上	60.6	75	—	—	昨年度実施していないため、実績値なし	74.8	74.9	68.6	73.3	—
102	5-1-2	学校教育課	「とても人の役に立つ人間になりたい」と答える児童(小6)」の割合		%	豊かな人間性を持った児童生徒の育成	—	75	—	—	昨年度実施していないため、実績値なし		64.1	71.0	73.2	—
103	5-1-2	学校教育課	「とても人の役に立つ人間になりたい」と答える生徒(中3)」の割合		%	豊かな人間性を持った児童生徒の育成	—	78	—	—	昨年度実施していないため、実績値なし		65.1	65.3	69.0	—
104	5-1-2	学校教育課	学校図書館 小学校児童一人あたりの貸し出し冊数		冊/年	読書習慣の定着	66	90	70	やや遅れている	コロナ禍による臨時休校や感染予防のために入館人数の制限が余儀なくされ、貸出冊数が減少した。今後は、感染症対策を講じながらも、学習に関連付けた読書活動を推進し、読書週間の定着を図る。	93	100	102	86	70
105	5-1-2	学校教育課	学校図書館 中学校生徒一人あたりの貸し出し冊数		冊/年	読書習慣の定着	8	20	13	やや遅れている	コロナ禍による臨時休校や感染予防のために入館人数の制限が余儀なくされ、貸出冊数が減少した。今後は、感染症対策を講じながらも、学習に関連付けた読書活動を推進し、読書週間の定着を図る。	24	24	23	20	13
106	5-1-3	学校教育課	全国体力・運動能力調査の結果(小5)		%	児童生徒の体力向上(全国平均50.0%)	50.1	53	—	—	昨年度は実施していないため、データなし	52	52.7	51.9	51.9	—
107	5-1-3	学校教育課	全国体力・運動能力調査の結果(中2)		%	児童生徒の体力向上(全国平均50.0%)	49.1	52	—	—	昨年度は実施していないため、データなし	51.7	51.3	51.2	49.9	—
108	5-1-3	学校教育課	朝食を食べる児童(小6)の割合		%	食育の推進による食生活の改善	94	95	—	—	昨年度実施していないため、実績値なし	96.1	95.2	95.3	94.8	—
109	5-1-3	学校教育課	朝食を食べる生徒(中3)の割合		%	食育の推進による食生活の改善	85.6	90	—	—	昨年度実施していないため、実績値なし	95.5	96.7	94.4	95.5	—
110	5-2-1	学校教育課	地域の方々と連携した授業の展開	I	回/年	本市に対する誇りと愛着心の向上	7	56	54	やや遅れている	新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、ゲストティーチャーによる対面での学習機会は大きく減少した。Web会議ツールを活用したオンラインでの実施も検討していく。	81	69	60	72	54
111	5-2-1	学校教育課	授業で市内施設を活用した数	I	箇所	ふるさと教育の充実	55	80	28	やや遅れている	コロナ禍により学習活動が制限されたため、市内施設を活用した数は減っている。今後は、感染症対策を講じながらも、市内施設を活用した教育活動をできる範囲で行うようにする。	88	88	91	77	28
112	5-2-2	教育総務課	小中学校の大規模改造実施率		%	快適な環境の学校の増加	57	100	100	順調	H30年度で事業完了	85	91	100	100	100
113	5-2-3	生涯学習課	巡視活動を行う人数		延べ人数	青少年の問題行動の抑止	625	850	487	おおむね順調	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、街頭巡視を実施できない期間があったが、可能な限り巡視を行った。	834	980	909	759	487
114	5-2-3	生涯学習課	青少年ボランティア団体の加入者数		人	社会活動への気運の高揚	31	46	25	おおむね順調	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ボランティア活動を実施できない期間があったが、可能な限り活動を行った。	27	31	34	36	25
115	5-2-4	生涯学習課	家庭教育学級の参加人数		人	家庭教育力を向上	600	800以上	105	おおむね順調	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で開催できない状況が続き、人数が減ったが、オンラインの活用や十分な対策を行った上で開催した。	963	1,014	1,274	1,048	105
116	5-2-4	生涯学習課	家庭教育サポーター人数		人	家庭教育力を向上	23	34	24	おおむね順調	年によって人数にバラつきがあるが、休止や復帰するサポーターがいるため流動的になっている。隔年で養成講座を行い、計画的にサポーターを確保している。	23	27	25	23	24

No.	施策番号	成果指標を管理する所属	成果指標	重点プロジェクト	単位	指標の説明	平成22年度実績値(基準値)	令和3年度目標値	令和2年度実績値	目標値の達成状況	実施状況等	H28	H29	H30	R1	R2(再掲)
117	5-3-1	生涯学習課	講座の参加者数		人/年	市民大学校、寿大学校等への参加者増加により、社会教育を充実	858	1,750	749	おおむね順調	市民大学校は、天候等の突発的な事情で減少が見られたがコミュニティカレッジ参加者はおおむね順調に推移している。今後も市民のニーズを把握し企画・運営に努める。寿大は、今後も継続して高齢者に様々な分野の学習の場を提供し充実した生涯学習を行える環境を整えていく。	1,662	1,303	1,524	1,196	749
118	5-3-1	生涯学習課	自主サークル数		団体/年	地区公民館、女性センター等で活動するサークル数増加により、社会教育を充実	99	108	93	おおむね順調	年度ごとに増減はあるが、会員募集チラシやHPの活用、館内掲示やイベントなどでサークルの活動の様子を来館者に見ていただき、サークルのPRを行い、登録数の増加を目指す。	97	95	90	88	93
119	5-3-1	生涯学習課	施設利用者数		人/年	図書館、地区公民館等の利用者数増加により、社会教育を充実	131,513	140,000	211,283	順調	平成31年4月のにぎわいの里のいちカミーノの開館により、利用者数が大幅に増加した。	123,841	141,392	278,721	326,658	211,283
120	5-3-1	生涯学習課	図書館ボランティア登録者数	Ⅲ	人	新図書館の運営への市民参加を促進	-	100	64	おおむね順調	若い世代の方を含め、新たに登録をいただいている反面、脱退される方もおり、活動を止めるに至った原因を分析し、継続しやすい体制を整えていく。		23	80	64	64
121	5-3-1	生涯学習課	新市立図書館貸出冊数	Ⅲ	冊/年	新たな利用者の呼び起こし	-	500,000	530,759	順調	豊富な蔵書と新着図書が、貸出冊数の増加につながっている。		226,804	591,548	618,956	530,759
122	5-3-2	スポーツ振興課	さわやかスポーツフェスティバル参加人数		人/年	生涯スポーツの普及	2,189	3,200	-	遅れている	市民の健康増進に対する関心を高めるため開会式後にソフトエアロビを実施した。また、金沢武士団や金沢学院大学からの協力を得、小学生等への指導を実施した。今後も各団体からの協力を得て参加者を増やす。	1,728	1,441	1,843	1,938	-
123	5-3-2	スポーツ振興課	ニュースポーツ大会参加人数		人/年	生涯スポーツの振興	107	200	55	遅れている	新型コロナウイルスの影響で令和元年度の大会は中止となった。これまで行ってきたトリプルソフトバレー以外の新しい種目を取り入れ、ニュースポーツ等の普及に努める。	111	88	58	0	55
124	5-4-1	文化課	美術展出品数		点	協会員・市民による作品出品数増加による市民文化・芸術の振興	111	200	-	-	出品案内を早期に行い、作品数が増加した。より幅広い層の市民にも広く美術活動を推進していく。	163	159	134	178	-
125	5-4-1	文化課	椿まつり入場者数		人/年	市花木「椿」を題材とした芸術文化の発信による市民文化・芸術の振興	6,000	7,000	2,520	おおむね順調	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業を中止した。	12,600	7,000	6,549	0	2,520
126	5-4-1	文化課	情報文化振興財団の自主事業数		回/年	芸術文化に親しむ機会の提供の拡充と市民協働による内容の充実	19	40	24	おおむね順調	市内の大学や団体と協働する事業を積極的に行い、市民ニーズを把握し、気軽に芸術文化及び情報通信技術に触れていただけるよう取り組んだ。	37	37	37	37	24
127	5-4-2	スポーツ振興課	スポーツ少年団の団員数		人	団員増加による活性化とスポーツ人口の拡大	528	800	539	遅れている	ホームページや広報などを活用し、活動内容を広く市民に周知することにより団員の参加加入に繋げる。またスポーツ活動だけでなく施設の清掃やゴミ拾い、総合交歓会等で、異年齢交流を深め、健全育成に努める。	592	567	573	546	539
128	5-4-2	スポーツ振興課	スポーツ少年団の指導者数		人	指導者増加による活性化と競技力の向上	104	160	164	順調	今後も指導者・保護者研修会の開催内容の工夫に努め、指導者増を図る。	157	177	176	168	164
129	5-4-2	スポーツ振興課	体育協会員の会員数		人	会員増加による協会の活性化と競技力の向上	1,210	1,800	1,262	遅れている	ホームページなどを活用し、各協会の紹介や活動内容を広く市民に周知することにより会員増加と競技力向上に努める。	1,261	1,257	1,271	1,302	1,262
130	5-5-1	文化課	文化財普及啓発活動への参加者数		人/年	参加者の増加による文化財への愛護精神などの高揚	900	3,000	1,694	おおむね順調	カミーノで、国史跡末松庵寺跡出土「女子像が繙刻された土製品」の展示を行うなど話題性のある資料を公開した。	2,512	2,145	2,468	5,227	1,694
131	5-5-1	文化課	文化財施設の利用者数		人/年	利用者増加による文化財への愛護精神などの高揚	4,400	10,000	4,309	おおむね順調	地元の方を中心に、野々市の歴史に親しんでいただけのような活動を続けていく。	8,256	7,345	8,106	7,602	4,309
132	5-5-1	文化課	デジタル資料館へのアクセス数		人/年	貴重な文化財の存在の周知	-	5,000	4,417	おおむね順調	新たに指定された文化財等のコンテンツを追加し、野々市の文化財の周知を図る。	3,409	3,126	3,655	3,255	4,417
133	5-5-2	文化課	末松庵寺跡発掘調査の進捗率		%	発掘調査の実施	0	100	93	おおむね順調	有識者で構成される委員会の指導を受け、発掘調査を実施する。	83	85	88	90	93
134	5-5-2	文化課	末松庵寺跡の再整備率		%	史跡公園の再整備によるまちの魅力向上	0	100	68	やや遅れている	再整備に資する情報が不足しているため、発掘調査を継続し、得られた情報を踏まえ整備計画を策定する。	50	55	60	64	68
135	5-5-2	文化課	文化財説明板の設置		基	市内の文化財に設置や更新することによる、まちの魅力向上	7	56	58	順調	説明板の増設はないが、今後の増設に向けて設置計画を作成中である。	40	50	56	56	58
136	5-5-2	文化課	喜多家住宅の重要文化財追加指定と、保存修理率		%	重要文化財追加指定・保存修理することによる文化財の活用	-	100	95	おおむね順調	令和元年12月に重要文化財に追加指定された。		50	80	90	95

政策6 野々市産の活気あふれるまち【産業振興】

No.	施策番号	成果指標を管理する所属	成果指標	重点プロジェクト	単位	指標の説明	平成22年度実績値(基準値)	令和3年度目標値	令和2年度実績値	目標値の達成状況	実施状況等	H28	H29	H30	R1	R2(再掲)
137	6-1-1	産業振興課	年間商品販売額	Ⅱ	億円	販売額増加による地場産業の活性化(平成26年経済センサス-基礎調査)	2,662	2,760	-	-	経済センサスを利用するため、本年度数値なし。引き続き景気の情勢に注意しつつ、地場産業の活性化に努める。	3,171	-	-	-	-
138	6-1-1	地域振興課	特産品数	Ⅱ	品	地域資源活用の増加	11	20	11	やや遅れている	地場産品の販売力強化、新商品の開発意欲の増進などを促すため、平成30年度に創設したブランド認定制度の活用かつ柔軟な見直しを図るとともに、特産品制度との整理・統合について検討する。	12	12	11	11	11
139	6-1-2	産業振興課	市融資(設備投資)制度利用件数	Ⅱ	件/年	経営体質・基盤の強化	4	12	0	遅れている	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、経済状況が大幅に悪化したため企業の設備投資意欲が減衰したことによる。市制度融資は国の中小企業向け補助金や民間金融機関の融資メニューに当てはまらない事業において活用いただくため引き続き周知に努める。	2	1	4	5	0
140	6-1-2	産業振興課	新製品・販路開拓補助金交付件数	Ⅱ	件/年	経営体質・基盤の強化	3	10	8	おおむね順調	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、販路開拓のための展示会等が中止となるなど補助金の交付件数にも影響が出た。状況を注視しながら、引き続き制度周知に努める。	5	5	13	13	8
141	6-1-3	地域振興課	野々市認定ブランド商品数	Ⅱ	点	地域資源増加によるまちの魅力向上	-	10	5	おおむね順調	令和2年度は株式会社チャンピオンカレー「チャンピオンカレー」が認定された。引き続き野々市ブランド認定制度を運営し、地域産業の活性化を図る。	0	0	3	4	5
142	6-1-4	産業振興課	i-BIRD卒業企業の市内事業所誘致件数	Ⅱ	件	次世代産業が創出しやすい環境づくり	-	1	0	遅れている	令和2年度よりシェアードオフィス野々市を開設するなど、次世代産業が創出しやすい環境づくりに努めている。関係機関と連携し、事業者の求める環境等を聴取しつつ、誘致活動に取り組む。		0	0	0	0
143	6-1-4	産業振興課	産学連携事業支援件数	Ⅱ	件	地域産業の支援	-	3	0	遅れている	本事業の対象を市内の大学等から県内の大学等に広げることで、利用促進を図ってきた。本事業は企業・高等教育機関間の案件のため、様々な理由から事業の折り合いが付かないケースが多く、実績に結び付きづらい側面がある。		2	0	0	0
144	6-1-4	産業振興課	企業誘致件数	Ⅱ	件	経済活性化と雇用の増大	-	1	0	おおむね順調	令和3年度に本社機能施設立地促進補助金制度(平成30年4月施行)を活用した本社移転が予定されている。今後も企業立地を促進する制度の充実を図り、事業者の移転を促すとともに、企業立地ガイドの活用や事業者の求める環境等をきめ細かく聞き取りながら誘致活動に取り組む。		0	0	0	0
145	6-1-5	産業振興課	i-BIRD入居企業のうち本市支援企業数	Ⅱ	件/年	市内での起業を促進	-	12	17	順調	目標を達成しているが、引き続き関係機関と連携して企業の入居促進に取り組む。		6	8	12	17
146	6-2-1	産業振興課	地域特産物作付け面積	Ⅱ	a	特産物ヤーコン作付け面積増加による地域農業の活性化	20	35	21	遅れている	ヤーコンが健康野菜であることをPRし、ヤーコンの利用拡大を検討して関心を高めていく、また、6次事業化等も踏まえて、生産者が意欲的に取り組める環境の整備に努める。	22	18	20.3	21	21
147	6-2-1	産業振興課	生産者団体による直売回数	Ⅱ	回/年	地産地消の推進	63	66	54	おおむね順調	新型コロナウイルスのため開催延期となり、昨年度より開催件数が減少した。農業者と消費者が直接触れ合う機会を増やすことに農業の魅力を支える良い機会となることから継続して取り組んでいく。	65	67	65	65	54
148	6-2-1	産業振興課	イベント参加による周知回数	Ⅱ	回/年	地産地消の推進	0	5	14	順調	農業者と消費者が直接触れ合う機会を増やすことに農業の魅力を支える良い機会となり、農業の活性化につながることから、継続して取り組んでいく。	5	6	5	5	14
149	6-2-2	産業振興課	各関係団体との振興会議の回数		回	農業振興に関する会議により農業の充実	0	4	2	おおむね順調	関係団体の意見を取り入れながら、農業振興施策を検討し推進している。	3	4	3	2	2
150	6-2-2	産業振興課	農用地の利用集積率		%	農用地の利用増加による農業振興	-	30	30.2	順調	ホームページの活用や、利用権の期限満了の際に、土地の所有者や担い手に更新を呼びかけるなどし、集積率を上げたい。		27.2	26.7	29.6	30.2
151	6-2-2	産業振興課	認定農業者の人数		人	市が認定した農業者増加による農業振興	6	13	12	おおむね順調	認定農業者を増やすことにより、農業経営の安定・効率化が図れることから、引き続き認定を促す。	12	12	12	12	12
152	6-2-2	産業振興課	市民(体験)農園の面積		ha	新たな担い手の育成による農業への理解向上	1.6	1.85	1.7	順調	農業に接する機会を設けることによって、農業の魅力を知ってもらい、後継者の確保や農業への理解を促す。	1.8	1.8	1.7	1.7	1.7
153	6-2-2	産業振興課	特産物等のブランド化		件	市が認定するブランド品	-	1	2	順調	昨年度、キウイフルーツワイン及びヤーコン焼酎が野々市ブランドに認定。引き続き地場農産物の増産を推進すると同時に新たな商品化に努める。		0	0	2	2

No.	施策番号	成果指標を管理する所属	成果指標	重点プロジェクト	単位	指標の説明	平成22年度実績値(基準値)	令和3年度目標値	令和2年度実績値	目標値の達成状況	実施状況等					
												H28	H29	H30	R1	R2(再掲)
154	6-3-1	産業振興課	有効求人倍率	Ⅲ	倍	求人増加による雇用の確保	0.57	1.91	1.73	おおむね順調	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、雇用情勢は一旦弱まり7月に1.52倍となったが、徐々に回復し、3月は1.73倍となり改善傾向にある。	2.53	2.36	2.27	1.92	1.73
155	6-3-1	産業振興課	雇用増進奨励金の交付件数	Ⅲ	件/年	雇用の増加	15	20	6	やや遅れている	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、雇用情勢にも影響が出ている。景況感を注視しつつ、制度周知に努める。	15	6	15	12	6
156	6-3-1	産業振興課	勤労者住宅取得支援の新規承認件数	Ⅲ	件/年	安心して生活する市民の増加	19	20	39	順調	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、住宅用の資材の納品が遅れるなどの影響が出たが、目標は達成している。引き続き、制度周知に努めたい。		42	77	69	39
157	6-3-2	産業振興課	新しい働き方応援事業の啓発回数	Ⅲ	回/年	学生や女性に対し、自分らしく働くことを応援する相談会やセミナーの開催	-	1	2	順調	昨年度に引き続き、若者向け創業セミナー及び女性と企業との就職マッチング事業を実施した。引き続き、新たな働き方を応援する環境づくりに努める。		1	1	2	2
158	6-3-3	企画課	学卒者県内就職率	Ⅲ	%	地域に愛着を持って定着する学生の増加	-	46.5	-	-	(平成31年度で00+事業が終了したため、実績値なし。)		39.2	39.2	39.4	-
159	6-4-1	地域振興課	観光ボランティアガイド活動件数	Ⅱ	件	本市の魅力向上	-	20	25	順調	ボランティアガイド養成講座を含めた自主運営促進について引き続き支援する。	20	26	40	45	25
160	6-4-1	地域振興課	地域の野菜などを使用した商品を民間団体や企業などと共同開発	Ⅱ	品	本市の魅力発信	-	3	1	おおむね順調	令和2年度はヤーコンを使用した6次産産化商品「みんなのヤーコンカレー」が開発された。引き続き各種団体、大学、企業等と連携し、商品開発を行う。		0	0	0	1
161	6-4-1	地域振興課	観光物産協会展示コーナーで紹介したテーマ数	Ⅱ	件	本市の魅力発信	-	4	4	順調	展示品について、観光物産協会の協力を得ながら情報発信を進める。		2	4	1	4
162	6-4-1	地域振興課	野々市市PRキャッチコピーの作成	Ⅱ	件	市のイメージアップ	-	1	0	やや遅れている	本市の観光として現在ある地域資源や新たに発信できる素材を発掘し、魅力の発信に努める。		0	0	0	0
163	6-4-2	地域振興課	観光物産協会など関係団体の拠点施設の整備	Ⅱ	箇所	市の魅力の発信	-	1	1	順調	拠点施設の整備は平成30年度に完了した。平成31年4月に「にぎわいの里のいちカミーノ」が開館し、各種イベント・マルシェ等を開催している。今後も観光や物産などの市の魅力を発信していく。		0	1	1	1
164	6-4-2	地域振興課	観光物産協会主催事業数	Ⅱ	回	にぎわいの創出	-	10	27	順調	北国街道などの観光資源を活用し、にぎわいの創出に引き続き努める。		1	10	15	27
165	6-4-2	産業振興課	野々市市じよんからまつり来場者数	Ⅱ	人/年	にぎわいの向上	30,000	32,000	-	-	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、令和2年度のじよんからまつりは中止となった。	30,643	32,516	33,335	32,219	-
166	6-4-2	文化課	椿まつり来場者数	Ⅱ	人/年	にぎわいの向上	-	7,000	2,520	おおむね順調	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模を縮小して開催した。		7,000	6,549	0	2,520

政策7 暮らし充実 快適がゆきとどくまち【都市基盤】

No.	施策番号	成果指標を管理する所属	成果指標	重点プロジェクト	単位	指標の説明	平成22年度実績値(基準値)	令和3年度目標値	令和2年度実績値	目標値の達成状況	実施状況等	H28	H29	H30	R1	R2(再掲)
167	7-1-1	都市計画課	地区計画数	Ⅲ	件数	地域特性に応じた市街地環境の創出	-	8	9	順調	引き続き、開発予定区域における地計画の導入を指導していく。		6	8	9	9
168	7-1-1	建設課	市道歩道のバリアフリー化の延長	Ⅲ	km	バリアフリー法に基づく段差の解消や点字ブロックの設置	27	37	32.4	順調	段差解消のための歩道改良工事を約0.5km実施した。令和3年度も引き続き実施する。		32	32	32	32.4
169	7-1-2	建築住宅課	市営住宅の新設戸数(累計)		戸	子育て世代などの居住推進などによる定住化の促進	-	40	40	順調	市営つばきの郷住宅の建設により、「公営住宅」と併せて、中堅所得者向けの「地域優良賃貸住宅」を整備した。隣接した施設との相互効果により、子育て環境の充実と世帯の定住化促進に寄与している。	40	40	40	40	40
170	7-1-2	都市計画課	地区計画や各種協定の導入地区		地区	良好な居住環境が確保された地区の増加	7	10	11	順調	引き続き、開発予定区域における地計画の導入を指導していく。	8	8	10	11	11
171	7-1-3	建設課	無電柱化地区数		箇所	幹線道路沿線の無電柱化による景観の向上	8	10	8	やや遅れている	効果的な整備に向け、大規模な道路改良事業に合わせて実施を検討する。	8	8	8	8	8
172	7-1-3	建設課	道路愛称の設置数		路線	道路愛称による、市や道路への愛着の向上	6	9	6	おおむね順調	土地区画整理事業及び街路事業に伴う都市計画道路の整備に合わせて検討する。		6	6	6	6
173	7-1-4	都市計画課	市民一人当たりの公園・緑地面積		m2/人	憩いや安らぎのある緑地の増加	6	8	6	おおむね順調	令和2年度は新たな公園・緑地の整備は無かったが、今後、中林地区及び西部中央地区の土地区画整理事業により新たに整備が予定されている。	6	6	6	6	6
174	7-1-4	都市計画課	リニューアルされた公園数		箇所	市民ニーズに応じ、公園施設や遊具を改修し、快適な公園を増加	1	5	5	順調	園路やトイレの改修等、遊具以外の施設更新も含めた公園のリニューアルについて、目標とした5公園(堀内東公園、押野中央公園、北横宮公園、野々市中央公園、粟田中央公園)が完了している。	3	4	5	5	5
175	7-1-4	都市計画課	アダプトプログラム締結団体数		団体	市民の手による公園の管理の増加	5	8	6	おおむね順調	令和2年度におけるアダプトプログラム締結団体数の増加は無かった。	5	5	5	6	6
176	7-2-1	都市計画課	都市計画道路整備延長		km	市内の円滑な交通流動を図るための増加	43	46	47	順調	令和2年度は、堀内上林線の一部を整備中であり、引き続き、現在施行中である土地区画整理事業と街路事業により都市計画道路の整備を行う。	45	45	46	47	47
177	7-2-1	建設課	狭あい道路の整備箇所数		箇所	密集住宅市街地の狭あい道路の解消	-	50	71	順調	平成29年度に目標達成。今後も引き続き狭あい道路の解消に努めていく。	42	50	57	65	71
178	7-2-1	建設課	道路附属施設・橋梁の修繕箇所数		箇所	点検結果に基づいた予防的な修繕による延命化	-	144	165	順調	令和元年度に目標達成。今後は水銀灯の生産中止に伴いLED化を推進していく。		54	104	165	165
179	7-2-2	建設課	消雪装置設置済の路線延長		km	降雪が交通の妨げにならない路線の増加	49	52	52.5	順調	令和元年度に目標達成。今後も継続して新設の幹線道路を中心に整備を進め、消雪路線のネットワーク化に取り組む。	50	50	50.8	52	52.5
180	7-2-2	建設課	アダプトプログラム締結団体数		団体	市民の手による除雪体制の強化	5	15	16	順調	令和元年度に目標達成。今後も小型除雪機購入費補助金の活用促進と併せて市民団体に周知していく。	13	14	14	15	16
181	7-2-2	建設課	除雪ステーションの設置数		箇所	除雪機械保有台数の確保	-	2	0	おおむね順調	30豪雪及び令和3年1月の大雪による雪害時においても、現状で対応が可能であったため。		0	0	0	0
182	7-2-3	地域振興課	コミュニティバス利用者数		万人/年	公共交通の利用者数増加(コミュニティバス)	15	21	13	やや遅れている	昨年度すでに目標値を達成していたが、新型コロナウイルス感染症拡大及びそれに伴うコミュニティバス減便運行実施のため、利用者は減少。今後、コロナが収束に向かえば、利用者数は目標値を達成すると考える。	20	21	21	21	13

No.	施策番号	成果指標を管理する所属	成果指標	重点プロジェクト	単位	指標の説明	平成22年度実績値(基準値)	令和3年度目標値	令和2年度実績値	目標値の達成状況	実施状況等					
												H28	H29	H30	R1	R2(再掲)
183	7-2-3	地域振興課	J R北陸本線平均利用者数		人/日	公共交通の利用者数増加(J R野々市駅)	2,618	3,200	3,194	おおむね順調	昨年度すでに目標値を達成していたが、新型コロナウイルス感染症拡大により利用者は減少。今後、コロナが収束に向かえば、利用者数は目標値を達成すると考える。	3,516	3,762	3,892	4,000	3,194
184	7-2-3	地域振興課	北陸鉄道石川線平均利用者数		人/日	公共交通の利用者数(北陸鉄道石川線市内3駅合計)(H23の700人をピークに減少傾向にあり、利用者数の下げ止まりを図る)	591	650	373	やや遅れている	昨年度すでに目標値を達成していたが、新型コロナウイルス感染症拡大により利用者は減少。今後、コロナが収束に向かえば、利用者数は目標値を達成すると考える。	652	708	735	684	373
185	7-3-1	建設課	雨水幹線の整備面積		h a	都市型水害の発生抑制	196	225	215	おおむね順調	押野雨水2号幹線の改修工事を、約170m実施。引き続き、同雨水幹線の改修工事を、令和4年度の完了に向けて実施していく。	198	198	198	198	215
186	7-3-1	建設課	雨水排水量の抑制		%	雨水流出量の抑制	0	-3	-3	順調	令和元年度に目標達成。引き続き、水災害の減災を図るため、公共施設への雨水の排水機能を充実させる等、河川等への負担軽減に努めていく。	0	0	-2	-3	-3
187	7-4-1	上下水道課	老朽化施設の更新		箇所	老朽化した自己水源井の更新	-	4	4	順調	H31に水源井及び浄水場設備の更新完了。		1	2	4	4
188	7-4-2	上下水道課	処理区域面積		h a	下水道処理区域の拡大による快適な住環境の整備	990	1,159	1,126	おおむね順調	土地区画整理事業関連(西部中央地区・中林地区)において、都市計画道路等の築造工事に併せて、汚水管工事を実施していく。	1,097	1,098	1,106	1,114	1,126
189	7-4-2	上下水道課	下水道普及率		%	普及率増加による快適な住環境の整備	90	98	98	おおむね順調	未接続世帯について、個別訪問の実施を通して、理解を得られるよう継続的に進めていく。	96	97	97	98	98
190	7-4-3	上下水道課	石川中央都市圏での連携事業の検討・推進		件/年	連携による水道事業と上下水道事業の基盤の強化	-	1	1	おおむね順調	定期的に協議を実施しており、上下水道工事事業者の指定業務を4市2町で画一化し、事業基盤強化に努めている。		1	1	1	1

政策8 住み続けたい!をみんなの声でつくるまち【行財政運営】

No.	施策番号	成果指標を管理する所属	成果指標	重点プロジェクト	単位	指標の説明	平成22年度実績値(基準値)	令和3年度目標値	令和2年度実績値	目標値の達成状況	実施状況等					
												H28	H29	H30	R1	R2(再掲)
191	8-1-1	秘書室	一部事務組合への職員派遣数		人	広域的な事務を行うための人的支援の維持	1	1	1	順調	平成18年度から派遣開始。継続して現在も派遣している。	1	1	1	1	1
192	8-1-1	企画課	石川中央都市圏ビジョンの個別事業		事業	圏域に生活する住民に対する広域的な行政サービスの拡充	-	59	77	順調	第2期石川中央都市圏ビジョンの策定を行った。引き続き4市2町が連携し、活力ある地域経済を維持するとともに、住民が安心して快適な暮らしを営むことができる圏域の形成を目指していく。		60	62	71	77
193	8-1-2	市民課	マイナンバーカードの発行枚数		枚	窓口の混雑解消による市民満足度向上	-	5,500	14,631	おおむね順調	国のマイナポイント事業、カード交付延長窓口・休日窓口の開設等により、発行件数は増加している。		4,294	5,047	6,329	14,631
194	8-1-2	市民課	広域窓口サービスの利用件数		件	申請手続きの軽減	2,300	4,000	2,534	おおむね順調	個人番号カードの普及に伴い、広域窓口サービスよりも利便性の高いコンビニ交付サービスの利用へ移行している。	3,135	3,224	3,250	3,037	2,534
195	8-1-3	市民協働課	市公式ホームページのアクセス数		万件/年	市政への関心度の向上	159	200	317	順調	もともと閲覧数は増加基調にあるが、令和2年度は、コロナ禍の中で関連する多く情報を発信したこともあり増加した。	186	198	215	256	317
196	8-1-3	市民協働課	市政ふれあいミーティング開催数		回/年	市民と市長の直接対話による市政への関心度の維持	12	14	10	おおむね順調	コロナ禍による対話の機会の減少による。	8	14	16	35	10
197	8-1-3	市民協働課	外国語ページへのアクセス数		件/年	市政に関心のある外国人住民の増加	-	600	807	順調	市政に関心を持つ外国人が増加している。		603	650	587	807
198	8-1-3	市民協働課	市公式フェイスブックページへの「いいね!」数		件	市政に関心のある市民の増加	-	1,500	1,503	順調	1日1件以上の投稿を続けており、フェイスブックから情報を得ようとする人の増加につながっている。		1,245	1,323	1,423	1,503
199	8-1-4	市民協働課	市民向けメール配信サービス発信回数		件/年	市政に関する情報を入手したいと考える市民の増加	100	500	535	順調	コロナ禍のなかで、イベント等の減少により発信回数は低下しているが、目標値はクリア出来ている	510	645	570	666	535
200	8-1-4	市民協働課	報道発表件数		件/年	報道機関への市政情報提供による広報活動の向上	212	300	316	順調	十分に報道機関への情報提供が出来ている。	261	300	290	256	316
201	8-1-4	市民協働課	パブリックコメントへの意見数		件	市の政策への市民による自発的な関心の増加と広聴活動の向上	59	60	9	やや遅れている	意見数はパブリックコメントの募集件数や内容に依存するため、一概に評価できない。十分な周知期間を設けることや周知方法を改善することなど必要		4	18	1	9
202	8-1-5	秘書室	コンプライアンスの推進体制		%	法を遵守する職員の教育と研修などを通じた体制の整備率	0	100	100	順調	引き続き、職員の意識喚起に努める。	25	25.0	50.0	100	100
203	8-1-5	秘書室	庁内、外部からの公益通報件数		件	コンプライアンスに対する通報件数の維持	0	0	0	順調	職員等からの公益通報を適切に取り扱うとともに、適正かつ公正な市政運営を推進するため、公益通報に関する要綱を制定した。	0	0	0	0	0
204	8-1-6	秘書室	1年以内に縦割り行政の弊害を感じたことのある職員の割合		%	職員から見た効率的な行政機構の完成度	-	10	23.7	やや遅れている	82名の職員が縦割りの弊害を感じており、そのうち新型コロナウイルス感染症関連が24名であったことから、成果指標の割合が増加した。	35.2	36.0	19.6	14.8	23.7

No.	施策番号	成果指標を管理する所属	成果指標	重点プロジェクト	単位	指標の説明	平成22年度実績値(基準値)	令和3年度目標値	令和2年度実績値	目標値の達成状況	実施状況等	H28	H29	H30	R1	R2(再掲)
205	8-1-6	秘書室	迅速で適切な行政サービスを受けていると感じる市民の割合		%	市民から見た効率的な行政機構の完成度(市民意識調査)	-	65	-	やや遅れている	多様化する市民ニーズや行政課題に対応できる組織づくりに努める。	-	-	-	44.5	-
206	8-2-1	秘書室	若手職員の3職場経験者の割合		%	採用後の10年間で3つ以上の職場を経験した若手職員の割合増加	82	100	50	おおむね順調	資格を有する職員については、資格の活用を重点にした配置を行うため難しい部分があるが、若手職員のさまざまな分野の業務経験の確保に努めた。	71.4	50.0	75.0	42.9	50
207	8-2-2	秘書室	専門資格取得者の割合		%	資格取得者数の割合の増加による職員の資質向上	4	25	14.2	おおむね順調	業務に必要な専門資格取得者を計画的に採用している。	13.3	13.9	14.1	13.9	14.2
208	8-2-2	秘書室	研修計画による自己啓発研修参加職員の割合		%	職員の資質向上	1.9	15	8.9	おおむね順調	職員研修概要に基づき研修への参加を促しているが、その年度の人事異動や業務内容・研修内容により、受講率に増減が生じる。コロナ禍ではあるが、目標値に近づくよう受講の啓発に努める。	8.8	9.7	12.0	9.9	8.9
209	8-2-2	秘書室	評価者研修の定期的な実施		回/年	適正な評価による職員の熱意向上	1	1	1	順調	評価者に対する研修を毎年実施している。	1	1	1	1	1
210	8-3-1	税務課	市税の徴収率(現年度課税分)		%	近隣市の平均値以上	97.9	99.1以上	99.06	おおむね順調	コロナ禍により徴収率は前年度を下回ったが、徴収猶予の特例制度の利用による影響を考慮すると、徴収率は99.33%となり、前年度を上回っている。	99.05	99.22	99.11	99.21	99.06
211	8-3-1	財政課	適正な使用料、手数料の調査検討		%	見直しが必要と見込まれる使用料、手数料を調査、検討による適正な行政運営	0	100	100	順調	使用料については、有識者を含めた検討会からの意見を踏まえた条例改正を行い、令和2年度から新料金を適用している。手数料は、適宜検討する。	100	100	100	100	100
212	8-3-1	総務課	事業残地等の有効活用、処分率		%	事業残地等の有効活用と処分の総面積(1,135㎡)	0	100	99.8	順調	平成27年度に、ほぼ完了している。今後とも事業残地の有効活用・処分に努めていく。	99.8	99.8	99.8	99.8	99.8
213	8-3-1	財政課	ガバメントクラウドファンディング実施事業数		事業	ガバメントクラウドファンディングにより実施した事業数	-	2	0	遅れている	R2予算編成時に対象事業の検討を行ったが、対象事業がなかった。R3年度は対象事業がある予定(ふるさと起業家支援事業)		0	0	0	0
214	8-3-1	総務課	ふるさと納税件数		件	市に愛着を持つ人の増加	-	20	651	順調	令和2年9月から返礼品を併ふるさと納税を開始し、想定を上回る制度の活用があった。		12	14	12	651
215	8-3-1	企画課	企業版ふるさと納税件数		件	市に愛着を持つ企業の増加	-	3	37	おおむね順調	新型コロナウイルス感染症拡大による影響等があるものの一定程度の需給を確保することができた。今後もより一層の周知に努める。		72	70	66	37
216	8-3-2	財政課	実質公債費比率		%	公債費による財政負担の程度を表す比率18%以上で地方債の発行に一定の制限がかかる	8.2	10.0以内	7.1	順調	適正な財政運営を行っている。	5.5	5.6	6.2	6.8	7.1
217	8-3-2	財政課	将来負担比率		%	自治体が将来負担する借金などの1年間の収入に対する比率(350%になると黄信号)	34.1	60.0以内	21.0	順調	適正な財政運営を行っている。	19.4	33.7	36.5	28.6	21.0
218	8-3-2	財政課	経常収支比率		%	財政構造の弾力性を判断するための比率(高いほど財政構造の硬直化が進んでいることを表す)	87.4	98.0以内	96.0	おおむね順調	財政の硬直化が進行しており、R3から3年間を財政健全化集中取組期間として、健全化に取り組む。	91	93.9	95.8	97.1	96.0
219	8-3-3	企画課	申請書類の電子化件数		件	申請書類の電子化による市民の利便性向上	1	10	26	順調	電子入札、子育て関係手続、介護関係手続を電子申請可能としている。今後もマイナポータル(びったりサービス)にて電子申請可能な手続の拡充を図る。	1	14	15	26	26
220	8-3-3	企画課	情報セキュリティに対する理解度が中級以上の職員の割合		%	情報セキュリティに対する職員の理解度向上による適切な情報保護	-	80	77	順調	個別にアクセス権限を付与していない職員(保育士)を除く、全ての職員が情報セキュリティ研修を受講した。今後も、毎年情報セキュリティ研修の受講するよう管理を徹底していく。	81	80	78	79	77
221	8-3-4	教育総務課	教育ユニバーサルプランの達成度		%	プランの達成割合	0	100	27	おおむね順調	新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の中止、施設等、利用者の減少により、目標達成に至らなかった指標があり、達成割合は伸び悩んでいる。	31	15	24	27	27
222	8-3-5	企画課	行政改革大綱実施計画(第5次)の達成度		%	行政改革大綱実施計画(第5次)の達成割合	0	100	85.7	-	(平成28年度に計画期間を満了し、平成29年度以降は行政改革大綱(第6次)を推進しているため、評価対象外とする。)	85.7	85.7	85.7	85.7	85.7
223	8-3-5	企画課	行政改革大綱実施計画(第6次)の達成度		%	行政改革大綱実施計画(第6次)の達成割合	-	100	90.6	おおむね順調	32の推進項目のうち、29の推進項目について「当初の計画どおり進んでいる」と評価している。今後も、進捗状況を適切に把握して全庁一体となって行政改革を進めていく。		96.9	96.9	96.9	90.6
224	8-3-6	企画課	市政に対する市民満足度		%	市政に満足する市民の割合(市民意識調査)	94	96	92.1	遅れている	目標値に達していないことから、本市の地域資源の更なる充実に図り、市の魅力向上のための取組を推進する。	-	-	-	92.1	92.1